



一般社団法人東京都ホッケー協会

2023年度 連絡会

2024.2.23

ご挨拶

(右川代表理事)

1. THA中長期方針の確認

(多氣事業本部長)

2. 23年度活動報告と24年度活動予定

(各事業担当)

大会事業 強化事業 普及事業 事務局

3. 2023年度収支報告（見通し）

(一川会計担当)

4. 次年度に向けた取り組みについて

(右川代表理事)

5. 連絡事項

(市川事務局長)

6. 質疑応答

- さくらジャパン パリ五輪壮行試合 6/22 (土) 予定@大井M
- JHAとの連携 厳しい財政状況下での協会運営
- 「社会共創パートナー」品川区との取組み 一層の地域連携
- THA理事の改選 本年6月の総会、ガバナンスの強化

2018年11月 「一般社団法人東京都ホッケー協会」が発足

「コンプライアンスの実践、ガバナンスの強化、財務基盤の確立」

「規則に則り、会員全員参加で運営して行く開かれた協会」

+ 「社会から信頼される協会」

(目標)

1. **競技人口を増やす**
2. **大きな大会を運営する**
3. **強いチームを作る**

1. THA中長期方針の確認

理事 事業本部長

多氣洋平

ホッケーファミリーの拡大と地域共生による、
将来世代への五輪レガシーの継承

「TEAM TOKYO 2030」

◎ 競技力：「応援してくれる」ホッケーファミリーの拡大。ナショナルチームの競技力アップに貢献

2030年競技目標：国体成年男女優勝、国体少年男女本選出場、中学生ベスト8

国体チーム強化、中学生（高校生）年代の競技継続&強化

◎ 普及：「する」ホッケーファミリーの拡大と交流。すそ野の拡大は長期的な競技力向上に資する

2030年普及目標：THA登録100チーム（2021年：67 →2022年：68 →2023年：74チーム）

既存チーム活動活性→THA主催大会の拡充 新規育成（重点カテゴリー）→ジュニア、マスターズ、一般女子

◎ 地域共生：まちづくり×ホッケー。「地域」ホッケーファミリーの拡大。ホッケーの社会価値向上

2030年地域目標：2030W杯東京招致&開催 観客10万人、国際/国内主要大会の開催と年7.5万人OHS利用

大会の地域イベント化。「競技会」の遂行、競技役員育成。地域課題解決（防災、青少年育成、文化イベント、他競技 etc.）

+ 組織（コーポレート）

2030年目標：予算規模5000万/年、のべ3000人/年のTHAスタッフ管理、スポーツ庁ガバナンスコード達成



「地域共生 × ホッケー」で より良いまちづくりへ。

東京都ホッケー協会は、
ホッケーを通じた社会課題の解決など、地域の方々と共にまちづくりに貢献し、
生涯スポーツの受け皿として、末永く五輪レガシーを継承していきます。



業務量の増加に備え、業務意思決定の迅速化、理事の負担軽減および、理事会の適正規模化による実効性の向上。理事の多様性確保等ガバナンスの強化を見据え、経営と業務執行の機能を分化した。

経営機能（理事会）

中長期視点での経営計画や方針策定
業務執行の監督機能

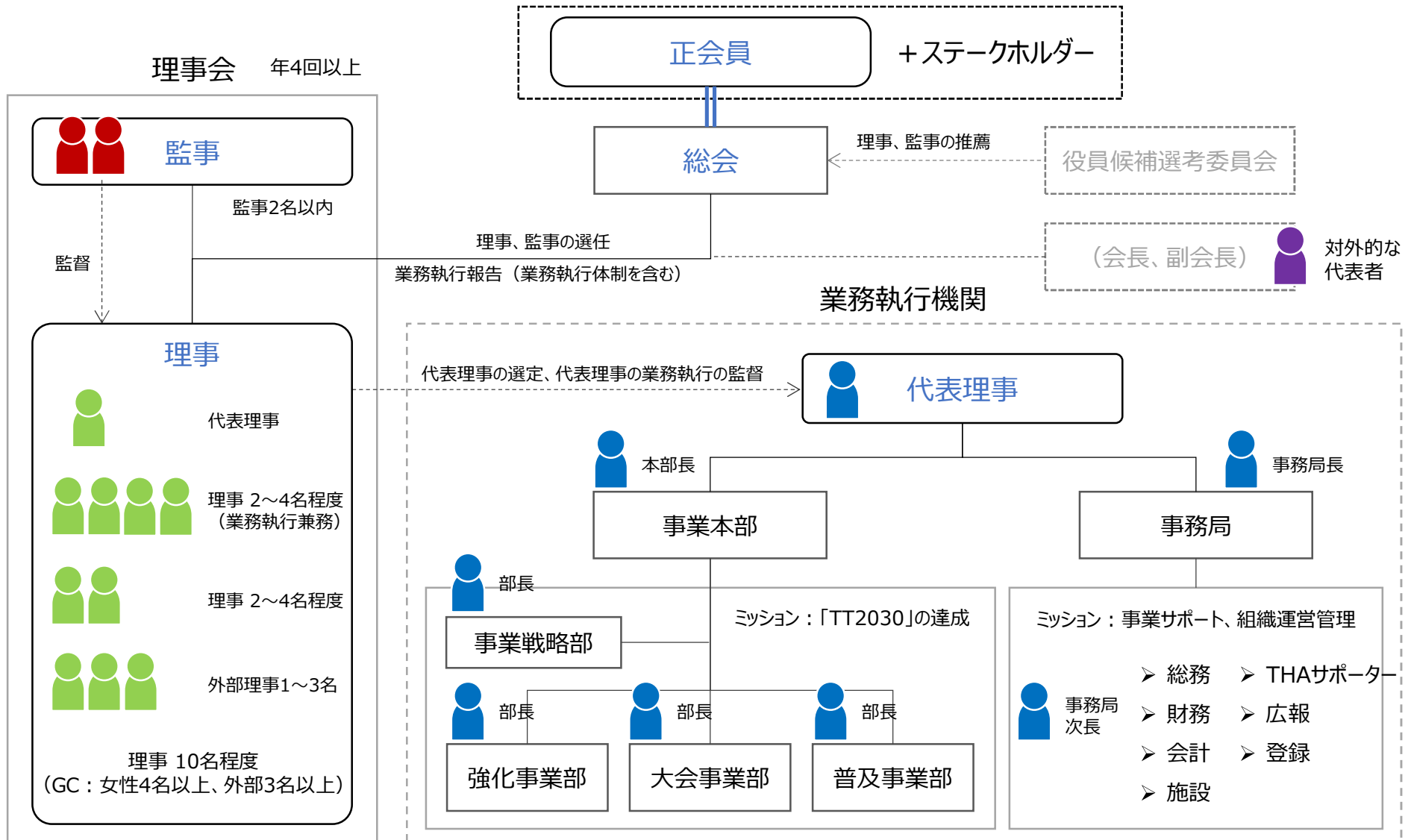
- a. 規程、細則の制定・改廃
- b. 予算の議決
- c. 決算の認定
- d. 事業計画の承認、事業運営の監視
- e. 重要な契約の締結
- f. 財産の取得および処分
- g. 審査請求、不服申立、訴え提起
- h. 損害賠償
- i. 検査・監査請求・意見書の提出
- j. 調査権等
- k. 寄付・贈与收受
- l. 総会に提出する議案の作成

業務執行機能

経営計画や方針に則った事業計画の策定。事業実施予算の策定と執行、実施体制づくり

- a. 事業計画の策定
- b. 予算の策定
- c. 事業の実施、予算の執行
- d. 部員の選定

2023年度THA組織図

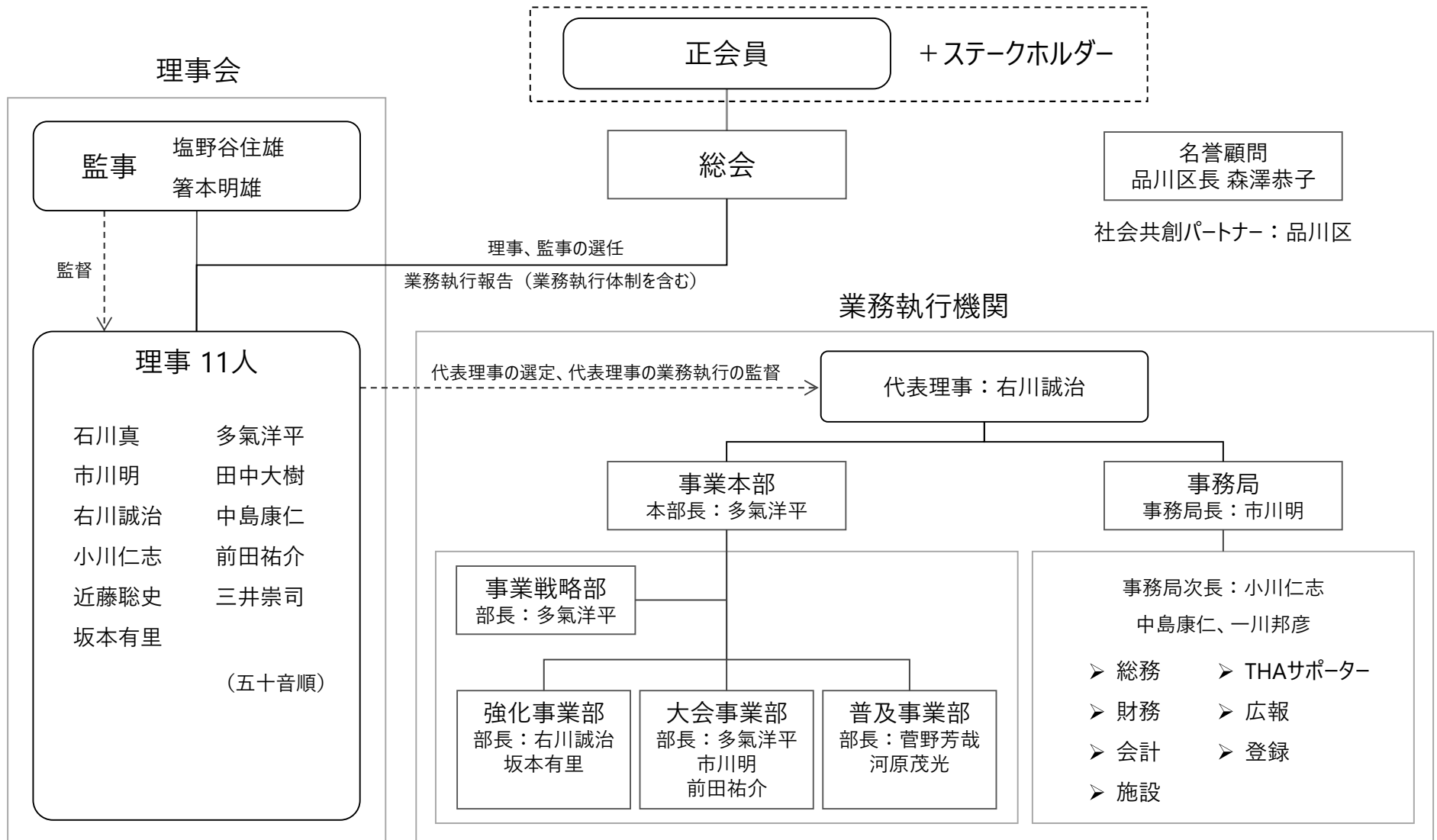


※今後数年かけて上記GC対応を見据える

※業務執行組織、及び業務執行に係わる会議体は理事会の承認を受けて柔軟に設定できる

2023年度THA組織図

2024.2.23現在



中長期視点での経営計画や方針策定
業務執行の監督機能

国体4種別編成、派遣
高校生クリニック
ジュニア強化

主管大会運営
主催大会企画運営
スポーツの日企画運営
大井・駒沢運用
主催競技役員講習会

主催教室企画運営
自治体等受託事業
コーチ1、2講習

事業サポート、組織運営に係る各種業務

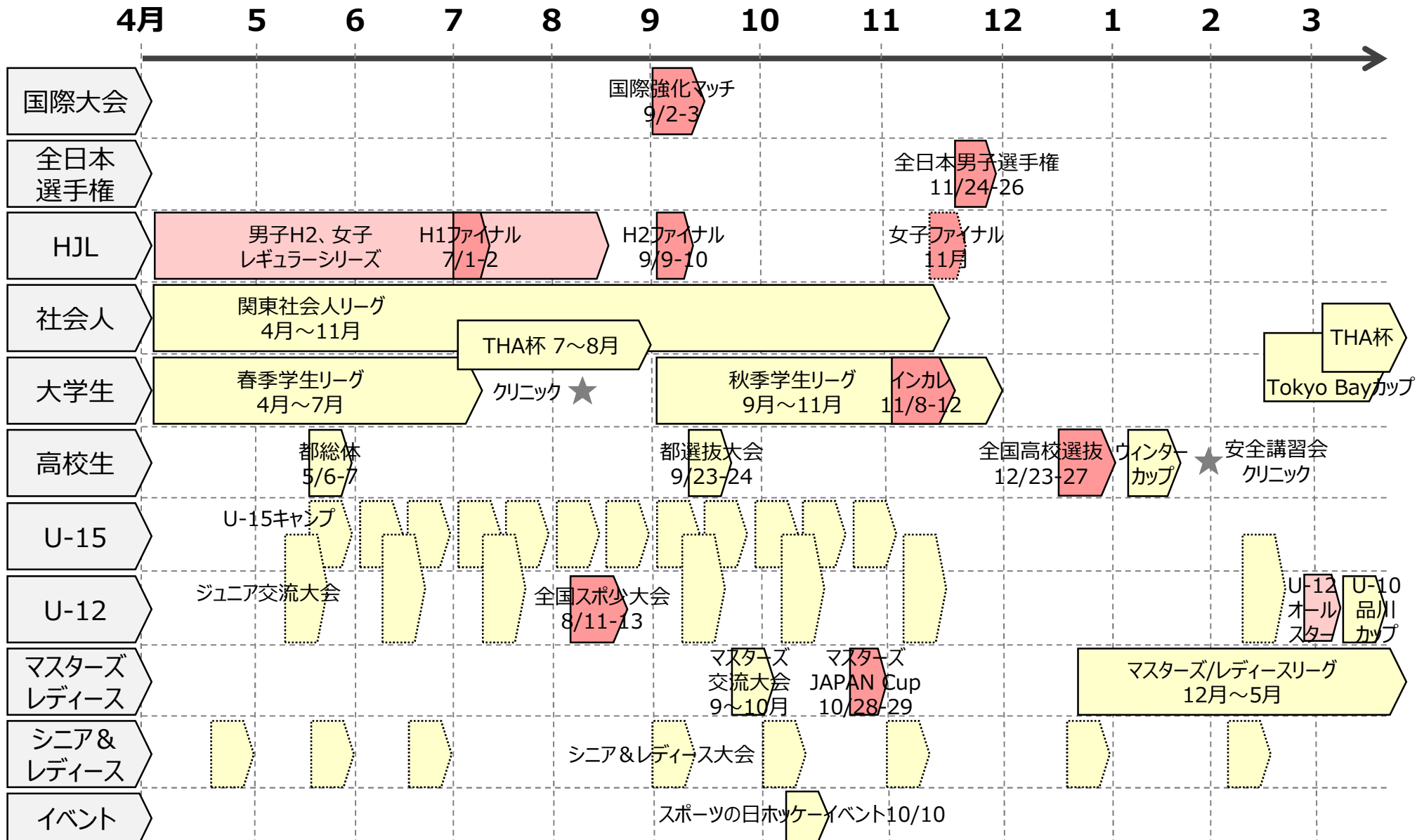
2 - 1 . 2023年度活動報告と2024年度活動計画

～大会事業～

大会事業部長

多氣洋平

2023年度の大会レビュー



催：THA主催 管：主管 他：その他

- 4月 催) シニア & レディース大会 (4/29～2024/3/31 ※全9回)
- 管) 高円宮牌2023ホッケー日本リーグ男子H2、女子 (4/22-23)
- 他) 2023年度関東社会人リーグ (4/2～10/15 ※全16日程)
- 他) 2023年度関東学生春季リーグ (4/2～6/25 ※全13日程)
- 5月 管) 高円宮牌2023ホッケー日本リーグH2 (5/13-14)
- 6月 他) 品川区ホッケー教室 (6/4、8/19、9/24)
- 7月 管) 高円宮牌2023ホッケー日本リーグH1ファイナル (7/1-2)
- 催) 第1回東京都U15ホッケー選手権大会 (7/9)
- 催) 東京都ホッケー協会杯 (THAカップ) (7/8～8/27)

2023年度の主な大会事業 上期



催：THA主催 管：主管 他：その他

- 7月 管) 高円宮杯2023ホッケー日本リーグH2 (7/22-23)
- 8月 管) 高円宮杯2023ホッケー日本リーグ女子 (8/5-6)
- 管) 第46回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会 (8/11-13)
- 9月 他) 日本代表国際強化マッチ (9/2-3)
- 他) 2023年度関東学生秋季リーグ (9/9-11/25 ※全14日程)
- 管) 高円宮杯2023ホッケー日本リーグH2ファイナル (9/9-10)
- 催) THA国際交流大会 (9/30-10/3)

2023年度の主な大会事業 下期



催：THA主催 管：主管 他：その他

- 10月 管) 大井スポーツの日ホッケーイベント (10/9)
- 管) 第4回マスターズホッケー-JAPAN CUP (10/28-29)
- 11月 他) 第72回男子、第45回女子全日本学生選手権 (11/8-12)
- 管) 高円宮杯2023ホッケー-日本リーグ女子ファイナル (11/18-19)
- 管) 第97回全日本男子ホッケー選手権 (11/23-26)
- 12月 他) U15エリートアカデミー (12/16-17)
- 管) 第55回全国高等学校選抜ホッケー大会 (12/23-27)
- 1月 催) マスターズ/レディースリーグ2023-24 (1/13～2024/5/18予)
- 催) 高校生ウィンターカップ (1/8-20)

2023年度の主な大会事業 下期



催：THA主催 管：主管 他：その他

- 2月 他) U15エリートアカデミー (2/17-18)
- 催) Tokyo Bayカップ2024 (2/23～3/10)
- 3月 他) U-12ホッケーオールスター戦 (3/2～3)
- 他) U-10品川カップ (3/9)
- 催) 東京都ホッケー協会杯 THAカップ2024 (3/10～11/23)

- 催) マスターズ60+リーグ (2024年4～5月予)

大会主催事業①

シニア&レディース大会（通年） 対象：40歳以上の男性。女性＝年齢不問
個人参加可能で、手軽にホッケーを楽しみたい人や健康増進を目的とする受け皿
→2023年度、9回開催予定 残り1回 3/31 →2024年度は、8回開催予定

ジュニア交流大会（通年） 対象：小学生/中学生チーム
小中学生チームの活動機会創出と競技継続促進の為に開催。都外のチームも招待
→2023年度、7回開催予定 今年度残り1回 3/17 →2024年度は、4回開催予定

THAカップ2023（7～8月） 対象：一般男子チーム
社会人と大学の交流大会。試合機会創出による、チームの活動活性、競技力底上げ
→2023年7～8月に開催。大学生チームを加えた新しい枠組みとした
→2024年度は、春季（3月）、夏季（7～8月）、秋季（11月）の通年開催

大会主催事業②

マスターズ/レディースリーグ（12～3月） 対象：マスターズ（50歳以上）、一般女子
S&L大会をベースに、チームで11人制の試合をするリーグ戦として2018年から開催

→2023年度は、12～5月に開催予定。女子は大学生チームを拡充 →2024年度も同様

Tokyo Bayカップ（2～3月） 対象：一般男子、大学男子チーム

新年度の国体チーム強化の第1段階。在京チームの競技力の引き上げ

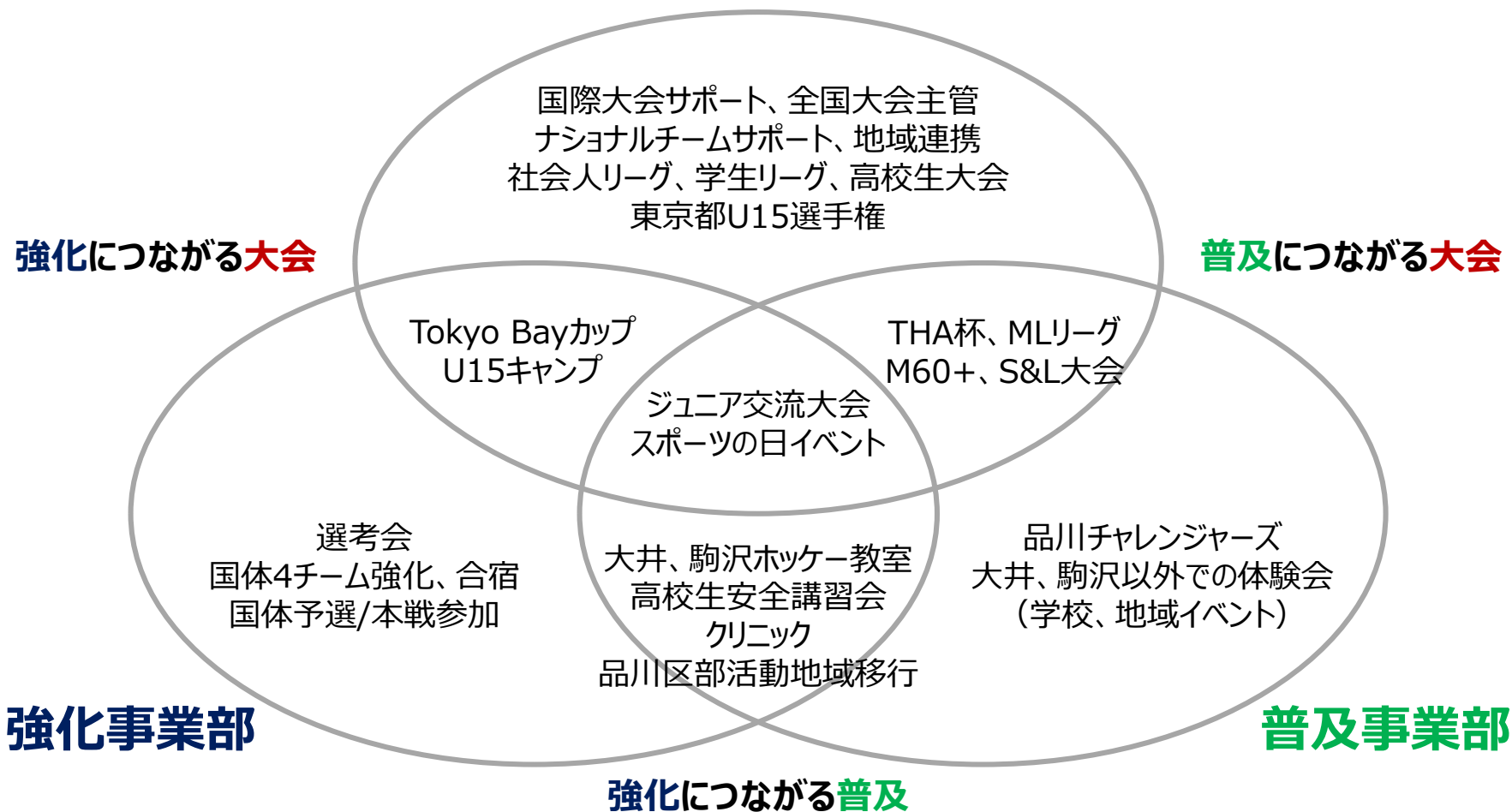
→2023年度も、2～3月に開催予定 →2024年度も同様に2～3月開催予定

マスターズ60+リーグ（2～3月） 対象：マスターズ（60歳以上）

マスターズリーグの拡張版として、ホッケーを生涯にわたって楽しんでもらう場の創出

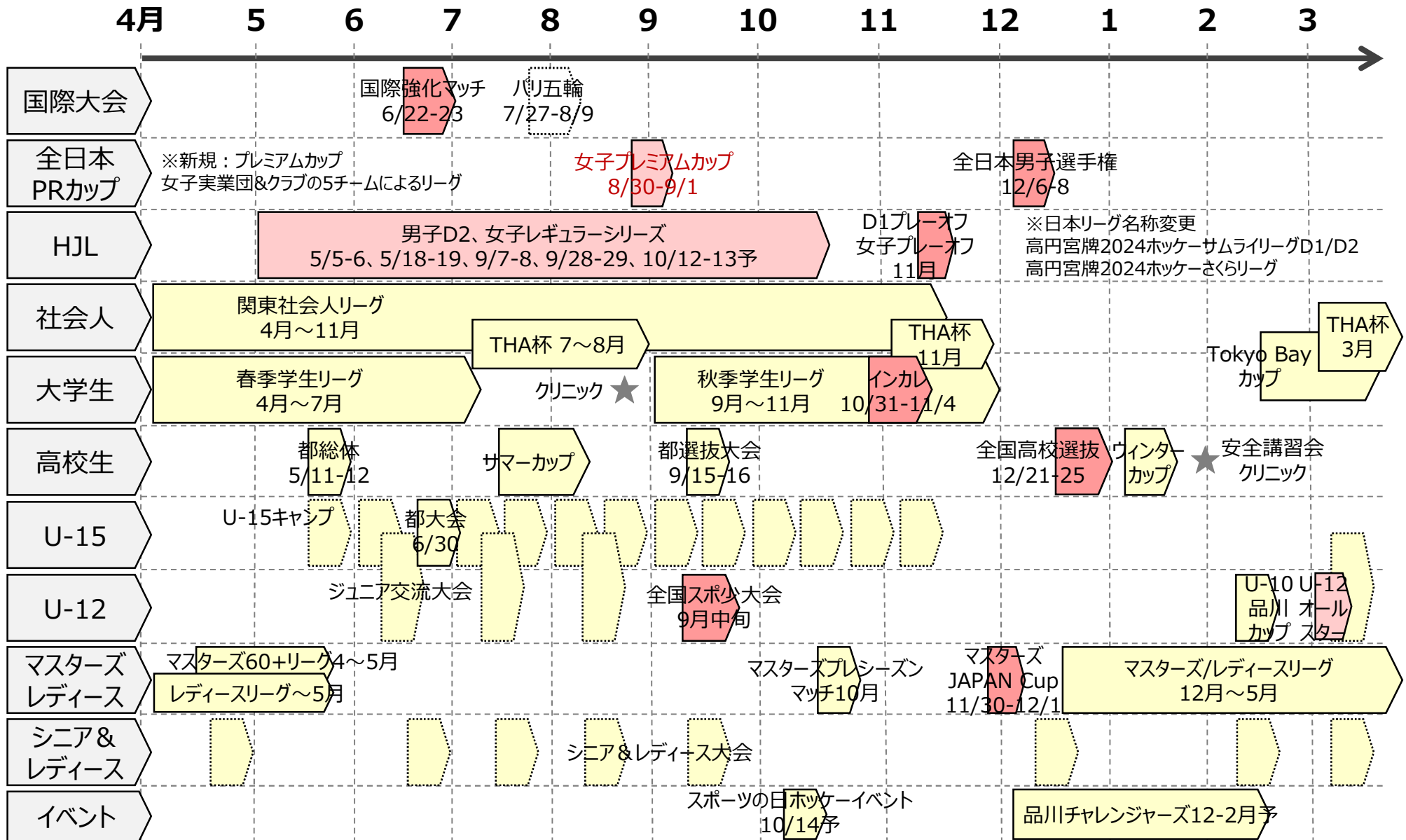
→年度内開催を、2024年度にずらし、4～5月に開催予定

大会事業部



2024年度の大会計画

※2024.2.20時点



目的：大会運営にかかる、人員確保およびオペレーション負荷の軽減

ポイント：個人ではなく、チーム単位で、大会運営の「持ち場」を担当していただく。

例（全日本選手権の場合）0月0日の午前2試合

1. ボールパトロール 5人（リーダー1人、ボールパトロール4人）
2. 競技補助 5人（リーダー1人、補助記録員1～2人、戦評1～2人、放送1人）

謝礼 ※交通費見合い含む：

半日（4h以内）2,000円、全日 3,000円。食事付

支払いは個人宛に後日（四半期ごと）THAからお振り込みいたします。

チームのメリット：

- ・大井や駒沢で予定変更により発生する、空き枠の優先的な利用案内をおこないます。

THA「大会事業パートナーチーム」

2024年2月時点での、大会事業パートナーチームのご紹介 ※順不同

- ・学習院大学男女
- ・日本体育大学
- ・立教大学男子
- ・東京農業大学男子
- ・東京女子大学
- ・成城クラブ
- ・東京ヴェルディホッケーチーム
- ・アレッサ横浜HC
- ・メトロ東京ホッケー & アスリートクラブ

いつもご協力ありがとうございます。

**常時、大会事業パートナーチームを募集していますので
お問い合わせください。**

2 - 2 . 2023年度活動報告と2024年度活動計画

～強化事業～

強化事業部長
右川誠治

前提として、主に東京都体育協会の交付金を活用して
競技力向上事業の枠組みでホッケー競技の強化活動を行っている。

交付金の種類として次の4つがある。

- ①国体強化・・・国民体育大会候補選手強化事業
- ②ジュニア育成・・・ジュニア選手強化育成事業
- ③オリンピック日本代表等候補選手強化事業
- ④指導者育成・スポーツ人材活用事業

①2023年度特別国対・関東ブロック予選結果

大会期間 8月25日～28日 埼玉県飯能市 阿須&駿河台大

- 少年女子 8月25日 1回戦 対栃木 0-4 敗戦
- 少年男子 8月25日 1回戦 対神奈川 0-1 敗戦
- 成年男子 8月26日 1回戦 対埼玉 1-2 敗戦
- 成年女子 8月26日 1回戦 対千葉 9-0 勝利
8月27日 準決勝 対栃木 0-1 敗戦

- 成年種別・・・確実に力をつけて来ているものの、栃木を破って優勝するにはまだ力不足。来年度の強化を前倒しで今年度から強化活動を実施する、秋口から新たな選手発掘をスタートするなど更なる強化策が必要。東京ベイカップの時点から予選に臨むチームのベースを作りたい。
- 少年種別・・・ジュニア強化対象者や経験者が中心戦力となっているため、現在の選手に続く育成が必要。個人技・体力の向上と共に、チーム内コミュニケーションを円滑にするため、来年度の強化を前倒して選抜候補チームを編成し、ゲーム形式の経験を増やしたい。

②2023ジュニア選手育成強化事業

THAでは、普及のゴールをチーム登録に置いているため、やって終わりの普及活動ではなく、継続的にホッケーに慣れ親しんでもらい、その先の強化につながるパスウェイを構築しつつあります。

事業名	駒沢 ホッケー教室	おおた ホッケー教室	ジュニア 交流大会	U-15キャンプ ※2023年度より	高校生 ワンデー大会
主催	THA	THA	THA	THA	THA
対象	ビギナー子ども +ジュニア強化 スキルアップ教室 同時開催	ビギナー子ども	小中学生チーム	中学生	高校生
人数規模	最大50名	最大50名	都内外4~10チーム 程度	20~30人/回	のべ300人参加
活動場所	駒沢	大井サブ	大井、駒沢	大井、駒沢	大井、駒沢
開催実績 開催予定	前期全5回実施済 (4~8月) 後期5回予定 3回実施済 (残り2,3月)	全6回実施済	6回実施済 残り1回予定(3月)	全16回実施済 (9~11月)	4月に2日程実施 1月に3日程実施

②2023ジュニア選手育成強化事業

●U12カテゴリー 報告／活動予定

・第46回 全国スポーツ少年団ホッケー交流大会

2023年8月11日 (金・祝) ～8月13日 (日) @大井ホッケー競技場 (メインピッチ・サブピッチ)

※品川2020男女、パキラ・よねざわが「東京」として出場。

男子 品川2020 →予選L敗退、フレンドリーL 3位

パキラ・よねざわ →予選L敗退、フレンドリーL1位突破、フレンドリーT ベスト4

女子 品川2020 →予選L2位通過、決勝T1回戦敗退/交流戦勝利ベスト12

・関東ブロックセレクション

2023年9月10日 (日) @栃木県青少年スポーツセンター内日光市市営ホッケー場

対象：6年生

※品川2020より、女子2名参加予定。

※参加都県から選考委員を出す必要あり。

②2023ジュニア選手育成強化事業

●U15カテゴリー 報告①

・第1回東京都ジュニアユース（U-15）ホッケー選手権大会

2023年7月9日（日）@大井ホッケー場サブピッチ

男子／1位 フリークス東京U15、 2位 品川翔英

女子／1位 フリークス東京U15、 2位 品川翔英、 3位 東京純心

・第28回関東中学生ホッケー選手権大会

2023年7月29日（土）・30日（日）@日光市ホッケー場,今市青少年スポーツセンターホッケー場

男子／フリークスU15 →予選リーグA 全敗 4位

品川翔英 →予選リーグB 1勝2敗 3位（群馬・みなかみ中学に勝利）

女子／フリークスU15 →予選リーグB 1勝2敗 3位（茨城・東海中学に勝利）

品川翔英 →予選リーグA 全敗 4位

②2023ジュニア選手育成強化事業

●U15カテゴリー 報告②

・U-15ジュニアユース（日本中学選抜）ホッケー代表チーム選手選考会

2023年9月16日（土）～18日（月）

@宮城県栗原市 築館多目的競技場 ・ 一迫多目的広場

対象：中学3年のみ

※品川翔英から男子2名、フリース東京U15から女子1名が参加。

・第24回 全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会

2023年11月11日（土）～11月12日（日）

@越前町宮朝日総合運動場、福井県立ホッケー場

※各チームの垣根を取っ払い、『オール東京』としてチーム作りを「U15キャンプ」事業を活用し行う。

※男子／ 1回戦 ● 1-2 静岡 、 交流戦 ● 0-3 奈良

女子／ 1回戦 ● 0-8 鳥取 、 交流戦 ● 0-10 栃木 *インフル辞退者が多く、9名で戦う

品川区スポーツ部活動地域移行事業

(THAへの委託事業) 2023年度は実証事業

- 2023年度は実施しないものと考えていたが、9月15日に急遽打合せを実施し10月に契約、11月から活動を開始
- ホッケータウンという事で『ホッケー』が選定された
→他競技ではラグビー、バドミントン、ダンスなど
- 品川区教育委員会指導課の主導
- 年内全10回の活動実施 + 1月2回の大井でのゲーム会
- コーチ陣は充実（帆風さん、小林さん、武藤さん、前田さん）
- 部員5名でスタート
→品川区の呼びかけもなかなか部員が増えない【課題】
→バドミントンは30人超え、ラグビーも20人以上
- 初心者/経験者問わず、練習回数を追うごとに、上達が感じられる

品川区スポーツ部活動地域移行事業

(THAへの委託事業) 2023年度は実証事業

- 開催回数 2023年11月～2024年1月 (全10回)
- 参加人数 スタッフ6名+部員5名 (男子2名女子3名)
- 指導スタッフ 帆風大輔 (HC)、小林真由美、武藤啓史、前田祐介
- 開催場所 伊藤学園、荏原平塚学園、大井ホッケー場
- 結果報告

短期間であったが指導スタッフの熱心な指導により参加部員はホッケーというスポーツに慣れ親しみプレーを楽しむことが出来た。最大の課題は部員が少ないこと。2024年度は事前募集準備期間もあり、また活動期間も長くなるため協会の優先取組み事業として一層の注力をしていきたい。

【目的】

公式戦の少ない高校生へ新チームでの試合経験を多く積む機会を提供する

<出場チーム及び試合形式>

(男子)

学習院高等科、成城学園高等学校、早稲田大学高等学院A、早稲田大学高等学院B

ゲストチーム：御殿場西高等学校、成東高等学校、鹿沼志木合同

以上、7チームによる変則総当り

(女子)

成城学園高等学校、東京学芸大学附属高等学校、品川翔英高等学校

ゲストチーム：鹿沼東高等学校、成東高校 以上、5チームによる変則総当たり

- ・1試合は15分×2Q（間2分、ノンストップ式）
- ・3日間で全37ゲーム（ハーフ）を回す

高校生ワンデー大会 (1/8、14、21)

- 開催日程・・・1月8日（大井）、1月14日（駒沢）
- ※1月21日は雨天中止
- 8日は都内男女それぞれ2チーム、都外より男子2チーム、女子1チーム招いて実践形式でのハーフゲームを全11試合行った。参加選手は男子50名、女子40名（計90名）
- 14日は男子のみ。都内3チーム、都外より招待男子2チームを招いて全12ゲーム（ハーフゲーム＝実際の試合時間の半分、30分6試合相当）を実施。参加選手は男子総勢100名。
- 公式戦の少ないこの時期に経験の浅い新チームにとって実戦経験を積む貴重な機会。ドーピング講習も併せて実施した

- 1月28日大井サブピッチ
- 高体連主催の指導者講習会に合わせて高校生のための安全講習会および基礎技術向上のためのホッケークリニックを行った。
- 午前中は女子。指導チームは東京ヴェルディHC
- 午後は男子。指導チームはフリース東京
- メニューはドリブル、パス、ストローク・トラップ、シュート
- 東京都のトップチーム選手による高校生への指導として縦の繋がりを重視し実施した。選手にとって大変有意義な機会となったと好評いただいた。2024年度も継続実施したい。

③オリンピック等日本代表候補選手強化事業

■ 2023年度の強化事業の対象者は、以下の選手としています。

・さくらジャパン候補

- ① 及川 栞 選手（東京ヴェルディ/CANBERRA CHILL）
- ② 瀬川 真帆 選手（東京ヴェルディ）

・サムライジャパン候補

- ① 柏木 蓮 選手（東京農業大学）
- ② 小林 正人 選手（明治大学）

④指導者育成・スポーツ人材等活用事業

- 今年度から新たに設けられた事業で、将来の指導者育成のための活動、およびトレーナーや栄養士などスポーツ専門人材を活用することで競技力を向上させる活動を支援するもの
- THAでは今年度の国体強化活動において種別毎にトレーナーを配置し、選手のコンディションや怪我などのケアを頂いた。
- 成年男子・野田泰佑氏（NSCA-CPT、NSCA-CSCS）
- 成年女子・宮澤久嗣氏氏（鍼灸師）
- 少年男子・渋谷崇幸氏（柔道整復師）
- 少年女子・白田優氏（鍼灸師、AT）

- 国スポ強化（国体強化）4種別
- 成年男女、少年男女
- 4月初旬から募集開始予定
～5月末まで選考期間
- 6月～8月中旬まで強化活動期間
- 8月下旬 関東ブロック予選会（山梨）
- 10月5～9日 国民スポーツ大会（佐賀）

- 駒沢ホッケー教室 ※普及事業連携
- おおたホッケー教室 ※普及事業連携

- 駒沢ジュニアキャンプ
- U-15キャンプ（中学生育成強化）
- U15東京選抜チームの都道府県対抗11人制大会（11月@福井）への参加
- 高校生ワンデー大会 & ホッケークリニック

- オリンピック等候補選手強化
- 指導者育成

- 品川区部活動地域移行事業
- 10・11月 部員募集のための親子体験会（3回）
- 12月～2月 3か月 クラブ活動実施期間
- 募集部員数 30名

2 - 3 . 2023年度活動報告と2024年度活動計画

～普及事業～

普及事業部長

菅野芳哉

普及事業2023年度実績（委託事業）

赤文字の行事は前年に続いての開催

月日	イベント名	参加人数
4.9	しながわ運河まつりホッケー体験	85
5.13	立会川商店街五月祭りホッケー体験	50
6.4	品川区ウォーキングホッケー教室	100
7.29、30	大井納涼祭ホッケー体験	200
7.29	天王洲プレイスホッケー体験	100
8.19	品川区ウォーターホッケー教室	90
9.2,3	日本代表国際強化マッチ ホッケー体験	90
9.24	品川区ホッケー教室	100
9.30、10.1	ホッケーしなフェス ホッケー体験	176
10.8	水辺の観光フェスタ ホッケー体験	29
10.22	あつまれ荏原スクエア	83
11.18	立会川龍馬祭りホッケー体験	50
11.25	品川大商業まつりホッケー体験	189
12-3月	第3回品川チャレンジャーズ練習 & U-10品川カップ	400
1.27	新春北品まつり	80
3.31	親子でジュニアスポーツフェスタ（用具貸出）	90
	合計	1912

駒沢ホッケー教室 駒沢公園 全10回（前期4～8月、後期11～3月）
おおたホッケー教室 大井サブ 全6回（偶数月）
東京チャレンジホッケー教室 in OHS 大井メイン 全3回（11、1、3月）

これらの委託事業や自主事業を通じて、新たにホッケーの楽しさに触れた人を
ジュニアチームなどが受け皿となって、新規プレイヤーの拡大につなげていく

THA自主事業

おおたホッケー教室予定（全6回予定）

4/28日、15時@大井サブ
6/23日、15時@サブ
8/11日、15時@サブ
10/19土、15時@サブ
12/14土、15時@サブ
2/2日、15時@サブ

駒沢ホッケー教室予定（全10回予定）

4/28日、15時
5/25土、15時
6/23日、15時
7/14日、15時
8/17土、15時
11/23土、14時
12/7土、14時
1/19日、14時
2/24月、14時
3/29土、14時

委託事業

品川区ホッケー教室

5/19日、9時@大井メイン
7/28日、9時
9/29日、9時

品川区部活動地域移行ホッケー体験会

10/13日、9時@大井メイン
11/10日、9時@大井多目的
11/23土、13時@大井多目的

品川チャレンジャーズ

12/8日、9時@大井メイン
1/13月、9時
1/25土、9時
2/11火、9時
2/16日、9時

U-10品川カップ

2/23日、9-17時@大井メイン

今後の活動について

- ・しながわホッケー地域応援プロジェクト実行委員会（品川区）との連携を通じて、地域企業とコンタクトを取り普及につなげたい
- ・同様に駒沢地域での支援企業を募り、駒沢ホッケー教室の拡充を検討
- ・東京都生活文化スポーツ局主導の五輪施設有効活用プロジェクトでラクロス協会などとも協業し企業向けプログラムやイベントを検討。健保組合などを通じてホッケー普及を図る

第1回おおたランニングフェスティバル

2024年2月17日大田スタジアムでランニング大会に参加するランナーやその家族に、ホッケー体験会を実施し、総勢160名の方が参加してくれました。ジュニアチームへの呼びかけを行いました。



しながわホッケー地域応援プロジェクト

スポまち！長官表彰2023



品川区ホッケー応援キャラクター
シナカモン

しながわホッケー地域応援プロジェクト

<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

<目標内容>

- ① ホッケーをきっかけとした地域の賑わいの創出
- ② ホッケーをきっかけとしてスポーツを「する」「みる」「ささえる」人口の拡大

<PRポイント>

- ・品川区・日本ホッケー協会・東京都ホッケー協会の三者で「オフィシャル社会共創パートナー協定」を締結（令和3年度）それぞれの持つ力で、それぞれの課題を解決することを目的に本協定を締結。現在も三者が連携して事業を行っている。
- ・年間を通してホッケーを応援する事業を展開（令和5年度）「日本代表国際強化マッチ」など、ホッケーの大会をきっかけに競技団体・関係団体・民間企業などが連携し地域を挙げて応援。令和5年度は2日間で3,100人の来場があり、地域全体での賑わいの創出に寄与した。（令和4年度実績：2,900人）

<概要> 計画期間：～令和6年3月31日（単年度ごと検討）

<現状・課題>

東京 2020 大会のレガシーとして大井ホッケー競技場を新たな地域資源と捉え、長期的にホッケー競技を通じたスポーツ振興を図り、地域の賑わいを創出することが求められる。

<総合的な取組内容>

ホッケーを通じて地域・文化・観光・企業など他分野の団体と連携しながら地域・経済の活性化を図る。

ホッケー体験コーナー

イベントごとに体験ブースを設置



する

日本代表国際強化マッチ

日本代表戦の際に地域を挙げて応援



みる

ホッケー×地域

マスターズW杯にて海外選手を



ささえる

ホッケー×競馬場

大井競馬場×ホッケーコラボイベント



ホッケー×商店街

日本代表商店街訪問



交流人口の拡大
地域経済の活性化

スポーツをする・みる・
ささえる人の増大

<継続的な取組を確保できる体制（図）>



各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：品川区文化スポーツ振興部スポーツ推進課
- 地方スポーツ推進計画：品川区スポーツ推進計画
- 地方版総合戦略：品川区総合実施計画
- 地域スポーツコミッション：なし

【問合せ先・電話番号】

品川区文化スポーツ振興部スポーツ推進課
スポーツ振興担当 TEL：03-5742-9109

【フォローアップ欄】 令和6年度以降における計画の進捗状況

2-4. 2023年度活動報告 ～事務局～

事務局長

市川明

1) チーム登録状況

種別	チーム数	種別	チーム数		
高校男子	4	高校女子	3		
大学男子	15	大学女子	11		
一般男子	25	一般女子	2		
マスターズ男子	2				
中学男子	2	中学女子	3	合計	
少年団男子	4	少年団女子	3	74	+6
新規: 一般男子 (Tokyo Hockey Verein)、中学男子 (フリース東京U15)					
中学女子2 (フリース東京U15、東京純心)、少年団男子 (パキラHC)					
復帰: 高校女子 (品川翔英)、中学女子 (品川翔英)					
休会: 大学女子 (東海大学)					

2) 競技役員登録状況

種別	資格保有者数			種別	資格保有者数		
	本年	前年	増減		本年	前年	増減
国際審判	3	3	0	テクニカルデリゲート	4	3	1
A級審判	5	5	0	テクニカルオフィサー	6	8	▲ 2
B級審判	11	13	▲ 2	ジャッジ	122	40	82
C級審判	11	13	▲ 2	うち新規取得者	(82)	(21)	61
D級審判	83	50	33				
うち新規取得者	(44)	(16)	28		合計		
アンパイアマネージャー	3	3	0		本年	前年	増減
定年者	0	0	0		248	138	110

- ・資格保有者数は重複保有者を含めた延べ人数
- ・D級審判資認定講習会、ジャッジ認定講習会開催により新規取得者増
D級: 大学生(25)、一般(19)
- ・JG: 大学生(14)、高校生(63)、一般(5)
- ・今期昇格者: D級→C級1名、TD1名

①競技役員認定講習会の実施

1)D級審判員認定講習会

THA主催：7月17日、8月19日

関東学連主催：3月18日

2)ジャッジ認定講習会

THA主催：8月6日、12月16日

関東学連主催：10月21日

D級審判員およびジャッジ認定講習会については、今後も継続的に開催を計画していきますので、皆様の積極的な資格取得をお願いします。また、上位資格（B級、C級、TO等）保持者が限定的であり、上位資格の取得も是非目指して頂きたい。

②大井・駒沢での2024年度優先予約枠確保状況

駒沢の優先予約は計26コマで前年比▲32コマ。大井については150コマとなっており前年同数。2023年度に駒沢での大会利用が少なくなり、オフシーズンを中心に利用頻度が下がったことから枠を絞ったものの、想定以上の落ち込みとなる。2025年度は増枠を目指すものとしします。

③駒沢第一競技場利用料改訂

2023年8月に改訂の案内があり、ピッチ使用料が約20%値上げされることとなり、新規予約（23年度優先予約枠は対象外）分より適用されています。本改訂に伴い、2024年4月より正会員チームほかに適用する使用料を6,000円/時→7,000円/時に改訂致します。

④インボイス制度/消費税課税事業者への変更対応
事業規模拡大により、2024年度より消費税課税事業者となります。

⑤登録のお願い

新チームになり登録先連絡者等に変更ある場合は、案内が滞らない様に速やかに touroku@tokyo-hockey.jp宛にご連絡をお願いします。

また、2023年度活動実績（社会人リーグおよびTHA主催大会参加）のあるチームでJHA登録が未完およびTHA年間登録料未払のチームが複数存在しています。個別に連絡をさせていただきますので、ご対応をお願いします。JHAのシステム上の手続き期限は3月20日までとなります。

3. 2023年度収支報告

事務局会計担当

一川邦彦

2023年度THA決算見通し（予算対比）

金額：千円

事業名	種別	2023年度決算見通し			（参考）2023年度予算			備考	
		収入	支出	収支差	収入	支出	収支差		
前期繰越金		7,645			7,645				
強化	予選会	交付金	110	154	▲ 44	110	120	▲ 10	ほぼ予算通りの推移であった
	国体強化	交付金	1,600	1,698	▲ 98	1,500	1,700	▲ 200	全上
	ジュニア強化・育成	交付金	4,005	4,034	▲ 29	3,000	3,000	0	福井遠征個人負担－旅費を含む
	五輪・スポーツ人材	交付金	360	360	0	500	500	0	実績を反映
	国体・関プロ派遣	交付金	2,043	2,451	▲ 408	1,800	2,600	▲ 800	実績を反映
	部活地域移行	受託	1,000	161	839				2023年度に試行として実施
	計		9,118	8,858	260	6,910	7,920	▲ 1,010	
普及	おおた教室	補助金				－	－	－	ジュニア強化・育成事業として実施
	品川・他体験教室	受託	1,856	1,345	511	1,550	1,100	450	想定以上の多くのイベントが実施された
	品川カップ	受託	767	572	195	700	650	50	一部予算を増額しての実施となった
	計		2,623	1,917	706	2,250	1,750	500	
大会	HJL大会		(7,069)	(7,069)	(0)	(4,000)	(4,000)	(0)	HJL大会日程による
		受託	0	223	▲ 223	0	100	▲ 100	精算方式変更の未消化がある
	JHA大会	受託	12,156	12,791	▲ 635	15,900	16,000	▲ 100	JHA大会日程
	国体関プロ大会	受託	－	－	－	－	－	－	
	スポーツの日	受託	520	480	40	700	650	50	大井ホッケー場でアメニスの主催で実施
	THA大会	自主	3,347	3,344	3	3,500	3,100	400	多くの大会を実施した
	THA利用	自主	3,955	3,974	▲ 19	1,000	1,200	▲ 200	想定以上の空き枠、平日利用、があった
計		19,978	20,812	▲ 834	21,100	21,050	50		
基盤			8,954	9,039	▲ 85	6,000	6,040	▲ 40	関東学連、社会人連盟等の利用
法人			2,614	1,952	662	4,000	3,500	500	事務スタッフへの支払いが少なかった
合計			43,287	42,578	709	40,260	40,260	0	若干の黒字の見通しである
			(50,356)	(49,647)	(709)				
法人税、住民税及び事業税					－			70	今後、決算数字を折り込む
次年度繰越金					8,354			7,575	

2023年度THA決算見通し（前年対比）

金額：千円



事業名	種別	2023年度決算見通し			2022年度決算			備考	
		収入	支出	収支差	収入	支出	収支差		
前期繰越金		7,645			7,603				
強化	予選会	交付金	110	154	▲ 44	110	129	▲ 19	昨年並みであった
	国体強化	交付金	1,600	1,698	▲ 98	1,442	1,543	▲ 101	都体協交付金の若干増に対応
	ジュニア強化・育成	交付金	4,005	4,034	▲ 29	2,544	2,723	▲ 179	福井遠征個人負担－旅費を折り込み
	五輪・スポーツ人材	交付金	360	360	0	319	319	0	実績を反映
	国体・関ブロ派遣	交付金	2,043	2,451	▲ 408	177	859	▲ 682	都体協からチーム振込分を折り込む
	部活地域移行	受託	1,000	161	839	(2,385)	(2,385)	(0)	部活地域移行は本年度からの取組み
	計		9,118	8,858	260	4,592	5,573	▲ 981	
普及	おおた教室	補助金				98	127	▲ 29	ジュニア強化・育成事業として実施
	品川・他体験教室	受託	1,856	1,345	511	1,458	985	473	想定以上の多くのイベントが実施された
	品川カップ	受託	767	572	195	670	401	269	一部予算を増額しての実施となった
	計		2,623	1,917	706	2,226	1,513	713	
大会	HJL大会		(7,069)	(7,069)	(0)	(4,868)	(4,868)	(0)	HJL大会日程による
		受託	0	223	▲ 223	31	180	▲ 149	精算方式変更の未消化がある
	JHA大会	受託	12,156	12,791	▲ 635	18,052	18,108	▲ 56	JHA大会日程による
	国体関ブロ大会	受託	－	－	－	2,561	2,617	▲ 56	2023年度は埼玉県開催であった
	スポーツの日	受託	520	480	40	720	612	108	駒沢開催が見送られた
	THA大会	自主	3,347	3,344	3	3,509	2,673	836	ほぼ昨年並みの大会開催となる見通し
	THA利用	自主	3,955	3,974	▲ 19	2,725	3,705	▲ 980	想定以上の空き枠、平日利用、があった
計		19,978	20,812	▲ 834	27,598	27,895	▲ 297		
基盤		8,954	9,039	▲ 85	5,946	6,126	▲ 180	関東学連、社会人連盟等の利用	
法人		2,614	1,952	662	2,550	1,636	914	寄付金、事務スタッフへ謝金支払い等	
合計		43,287	42,578	709	42,912	42,743	169	ほぼ昨年並みの事業規模か	
		(50,356)	(49,647)	(709)	(50,165)	(49,996)	(169)		
法人税、住民税及び事業税							127	今後、決算数字を折り込む	
次年度繰越金				8,354			7,645		

2024年度THA予算構想（予算対比）

金額：千円



事業名	種別	2024年度予算（案）			2023年度決算見通し			備考	
		収入	支出	収支差	収入	支出	収支差		
前期繰越金		8,354			7,645				
強化	予選会	交付金	110	150	▲ 40	110	154	▲ 44	都体協交付金ベースの活動を予定
	国体強化	交付金	1,500	1,700	▲ 200	1,600	1,698	▲ 98	全上
	ジュニア強化・育成	交付金	3,000	3,000	0	4,005	4,034	▲ 29	全上
	五輪・スポーツ人材	交付金	500	500	0	360	360	0	全上
	国体・関ブロ派遣	交付金	2,000	2,460	▲ 460	2,043	2,451	▲ 408	パリ五輪との日程
	部活地域移行	受託	1,800	1,100	700	1,000	161	839	2024年度に事業本格化を予定
	計		8,910	8,910	0	9,118	8,858	260	
普及	おおた教室	補助金	—	—	—				ジュニア強化・育成事業として継続
	品川・他体験教室	受託	1,550	1,100	450	1,856	1,345	511	前年度並みを想定
	品川カップ	受託	700	650	50	767	572	195	全上
	計		2,250	1,750	500	2,623	1,917	706	
大会	HJL大会	受託	(3,000)	(3,000)	(0)	(7,069)	(7,069)	(0)	HJL大会日程による
		受託	0	150	▲ 150	0	223	▲ 223	精算方式の安定・迅速化を期待
	JHA大会	受託	15,000	15,500	▲ 500	12,156	12,791	▲ 635	JHA大会日程による
	国体関ブロ大会	受託	—	—	—	—	—	—	
	スポーツの日	受託	500	600	▲ 100	520	480	40	前年度並みを想定
	THA大会	自主	3,500	3,250	250	3,347	3,344	3	THA大会の拡大充実を図る
	THA利用	自主	3,840	3,840	0	3,955	3,974	▲ 19	優先予約日程の減少を反映
計		22,840	23,340	▲ 500	19,978	20,812	▲ 834		
基盤			8,000	8,000	0	8,954	9,039	▲ 85	関東学連、社会人連盟等の利用
法人			3,000	3,000	0	2,614	1,952	662	事務スタッフの増強を図る
合計			45,000	45,000	0	43,287	42,578	709	収支均衡を維持する
						(50,356)	(49,647)	(709)	
法人税、住民税及び事業税					—				今後、決算数字を折り込む
次年度繰越金					8,354			8,354	

2023年度THA決算見通し（事業-科目別）

金額：千円

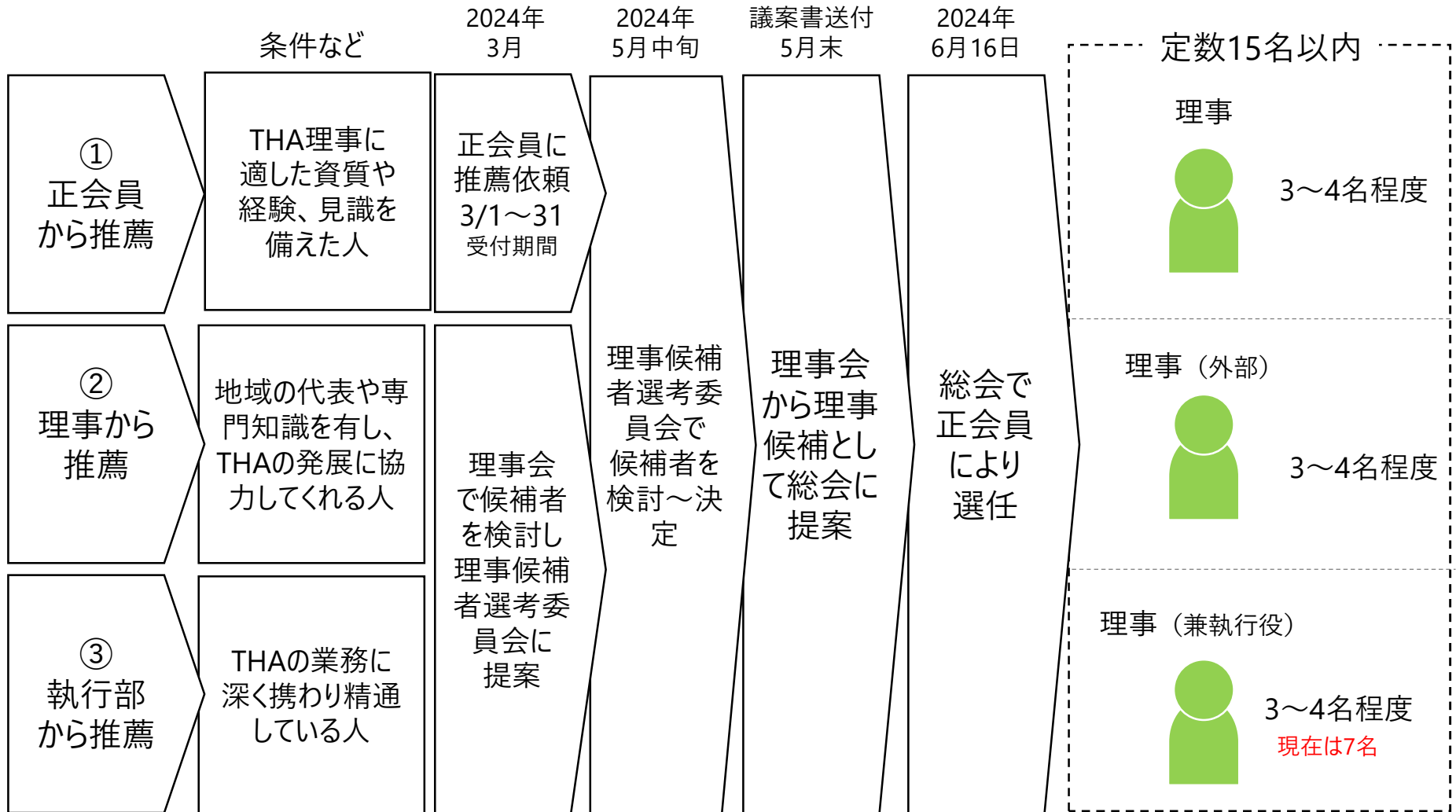


		金額	構成比	強化	普及	大会	基盤	法人	備考
経常収益	正会員受取会費	2,115	4.9%					2,115	全77チーム
	賛助会員受取会費	500	1.2%					500	
	大会等主催事業	8,369	19.3%	1,004		7,278	87		大会エントリー費、運営費等
	大会等運営事業（請負）	3,622	8.4%		1,856	1,766			大会参加費
	都体協交付金	7,112	16.4%	7,112					都体協競技スポーツ課交付金
	品川区等補助金	4,767	11.0%	1,000	767	3,000			品川区等補助金
	JHA他民間補助金	6,135	14.2%			6,135			JHA、スポ五一ツ安全協会、アメニスG等
	会場利用料収入他	10,667	24.6%			1,800	8,867		関東学連、社会人連盟、高体連等
		43,287	100.0%	9,116	2,623	19,979	8,954	2,615	
事業費	諸謝金	3,343	7.7%	1,695	85	1,463		100	運営スタッフ、指導者謝金
	食糧栄養費	244	0.6%	244					国体チーム役員・選手対象
	旅費交通費	7,721	17.8%	4,325	13	3,375	6	2	競技役員旅費
	委託費	1,464	3.4%	0	758	688	18		ホッケー教室指導委託
	大会運営費	2,085	4.8%	77		2,008			競技役員、MC/解説等業務費
	消耗品費他	3,393	7.8%	344	32	2,904	113		
	印刷製本費	1,064	2.5%			1,064			チラシ・パンフレット等作成費
	施設利用料	21,160	48.9%	2,053	1,025	9,182	8,900		大井・駒沢施設利用料
	賃借料	112	0.3%	5		55	2	50	駒沢物置他
	雑費	192	0.4%	115	4	73	0		保険料、他
		40,778	94.2%	8,858	1,917	20,812	9,039	152	
管理費	諸謝金	340	0.8%					340	事務スタッフ・会計士謝金
	諸経費	570	1.3%					570	HP運営費、他
	関係団体年会費	783	1.8%					783	JHA、都体協、関東協会年会費、他
	支払手数料	107	0.2%					107	振込手数料
		1,800	4.2%	0	0	0	0	1,800	
		709	1.6%	258	706	-833	-85	663	

4. 次年度に向けた取り組みについて

代表理事 右川誠治

次期理事の選出について



※3月までに理事候補者選考委員会のメンバーを確定

理事候補者推薦のお願い ～3/31まで



正会員の皆様へ 理事候補者推薦のお願い

THA理事に適した資質や経験、見識を備えた方の推薦をお願いします。

受付期間：2024年3月1日～3月31日まで

任期：2年

推薦に関する書類は後日メールにて案内します。

THA総会（予定）：2024年6月16日（日）午前

5. そのほかの連絡事項

事務局長

市川明

2024年度の競技規則について

2024年度に大きなルール改訂はありません。
競技運営規程と合わせて部分的な変更があると思われます。
今後3月上旬をメドにJHAの全国ルール統一研修会の結果
を踏まえた研修会資料ほか関連情報が掲出されますので、
各位にてご確認頂きたくお願いします。

2024年度THA登録について

3月より新年度登録を開始します。

正会員チームの皆さまには、従来通りの指定書式にて、

- ・チーム代表者
- ・監督
- ・議決権行使者
- ・連絡者
- ・施設利用責任者

の登録と、年会費の納入手続きをお願いします。

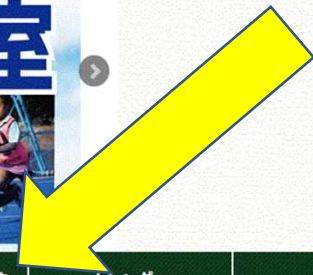
詳細は、THAホームページの「チーム登録・申請手続き」のページにて案内致します。

THAホームページでのチーム登録案内

「東京都ホッケー協会」で検索

OTA HOCKEY SCHOOL
2023年度東京都ホッケー協会 **参加無料**
おおたホッケー教室

こちらから



お知らせ

協会について

大会・活動スケジュール

チーム登録・申請手続き

カレンダー



お知らせ | News

>> お知らせ一覧

お知らせ

協会について

大会・活動スケジュール

チーム登録・申請手続き

カレンダー



お知らせ・スケジュール

お知らせ

大会・活動スケジュール

チーム登録・申請手続き

2023年度の正会員登録（年度登録）を開始いたします。

年会費（30,000円、少年団は男女合わせて当該額）納入と合わせて、「正会員登録（年度登録）申込書」を4月末日までにご提出ください。

・年会費納入先：みずほ銀行渋谷支店 普通 1849867

一般社団法人東京都ホッケー協会

・登録申込書提出先：touroku@tokyo-hockey.jp

※登録関係の問い合わせは上記アドレス宛てにお願いします。

その後、登録内容に変更の生じた場合は速やかに「正会員登録（変更）申込書」（同じ様式です）をご提出ください。

・JHAの登録に関しては、別途直接JHAからJHA登録システム上の連絡者に通知されます。

・定時総会の招集通知は「議決権行使者」にお送りします。

お届け頂いた個人情報はチームへの連絡の為だけに使用し厳重に管理します。

書式ダウンロード

[EXCEL](#) [一般社団法人東京都ホッケー協会 正会員登録（年度・変更・新規）申込書](#)

6. 質疑応答



一般社団法人東京都ホッケー協会
2023年度連絡会

ご清聴ありがとうございました。

2024.2.23